

土砂災害警戒区域について

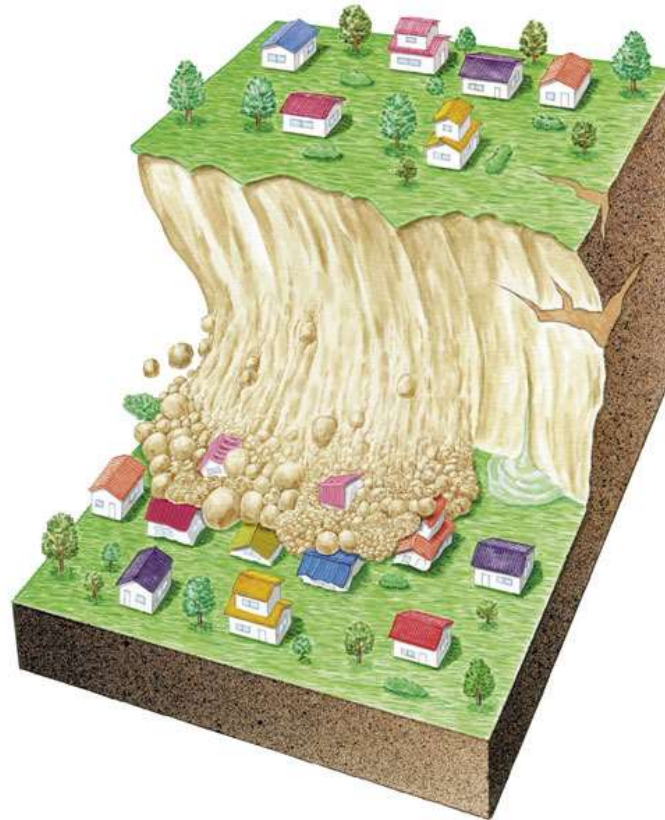
福井県 土木部 砂防防災課

土砂災害とは



土石流

谷や山の斜面から崩れた土や石などが、水と共に一気に流れ出てくる現象。



がけ崩れ

豪雨や地震などにより地盤が緩み、斜面が崩れ落ちる現象。



地すべり

地中の滑りやすい層が、地下水の影響などを受けて移動する現象。

土砂災害の避難は難しい

- 毎年全国各地で発生している
- 突発的に発生し、いつ、どこで起きるか、予測が難しい
- 河川のように目に見えて危険が迫っているか分からない
- 土砂が動き出してから逃げるのでは遅い
- 人的被害につながりやすく、屋内での被災が多い

⇒ 身を守るには「事前に避難」

ポイント

- ①危険な場所を知る
- ②避難のタイミング（気象情報・避難情報）
- ③避難場所・経路

土砂災害のおそれのある場所

土砂災害がおそれがある場所を、土砂災害警戒区域 = イエロー
と土砂災害特別警戒区域 = レッドに分けて指定しています

どしゃさいがい

ばしょ

土砂災害のおそれがある場所

いえ

こわ

おお

ひがい

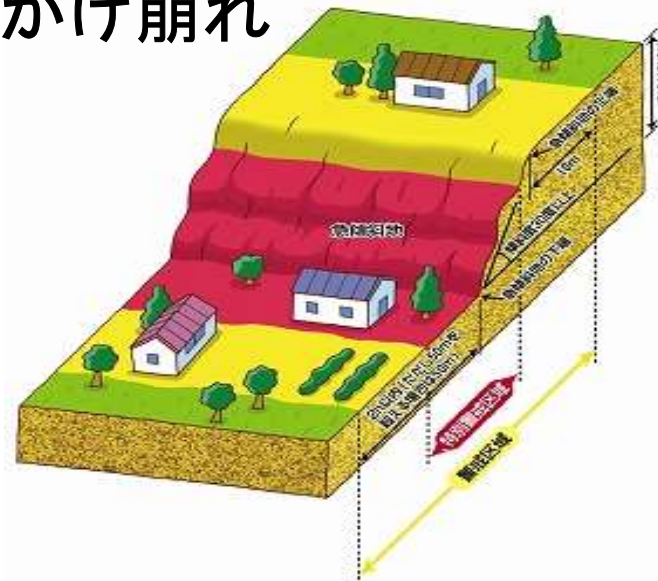
ばしょ

家が壊されたり、大きな被害のおそれがある場所

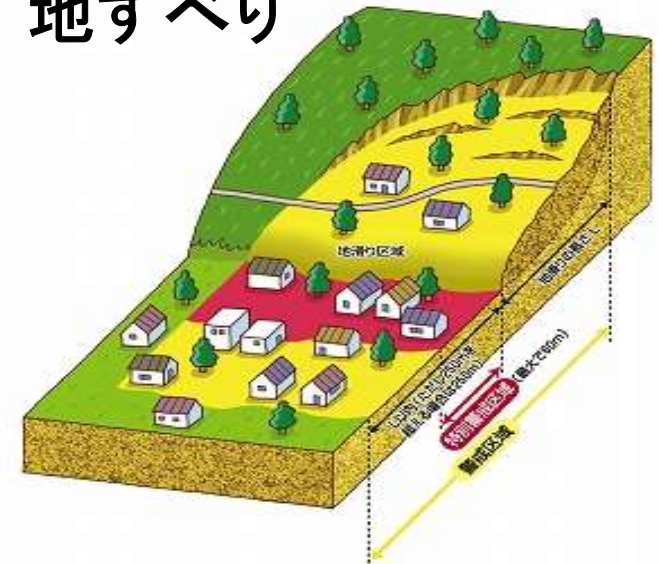
どせきりゅう
土石流



くず
がけ崩れ



じ
地すべり



土砂災害(特別)警戒区域の調べ方

土砂災害警戒区域等管理システム

①「福井県 土砂災害警戒区域」で検索する。

福井県 土砂災害警戒区域

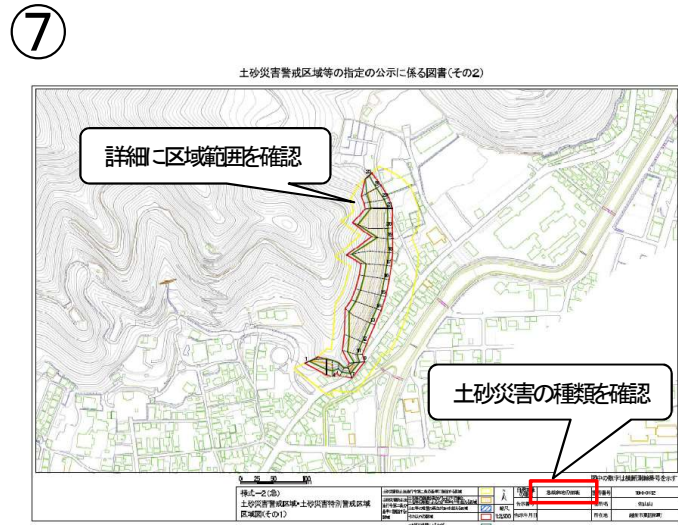
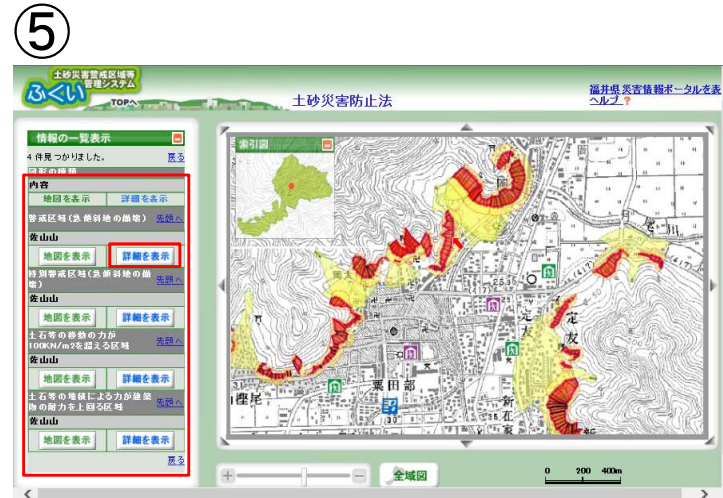
検索



「同意してシステムを利用する」をクリック

「土砂災害防止法」の主題を選択

市町と地区名を選択



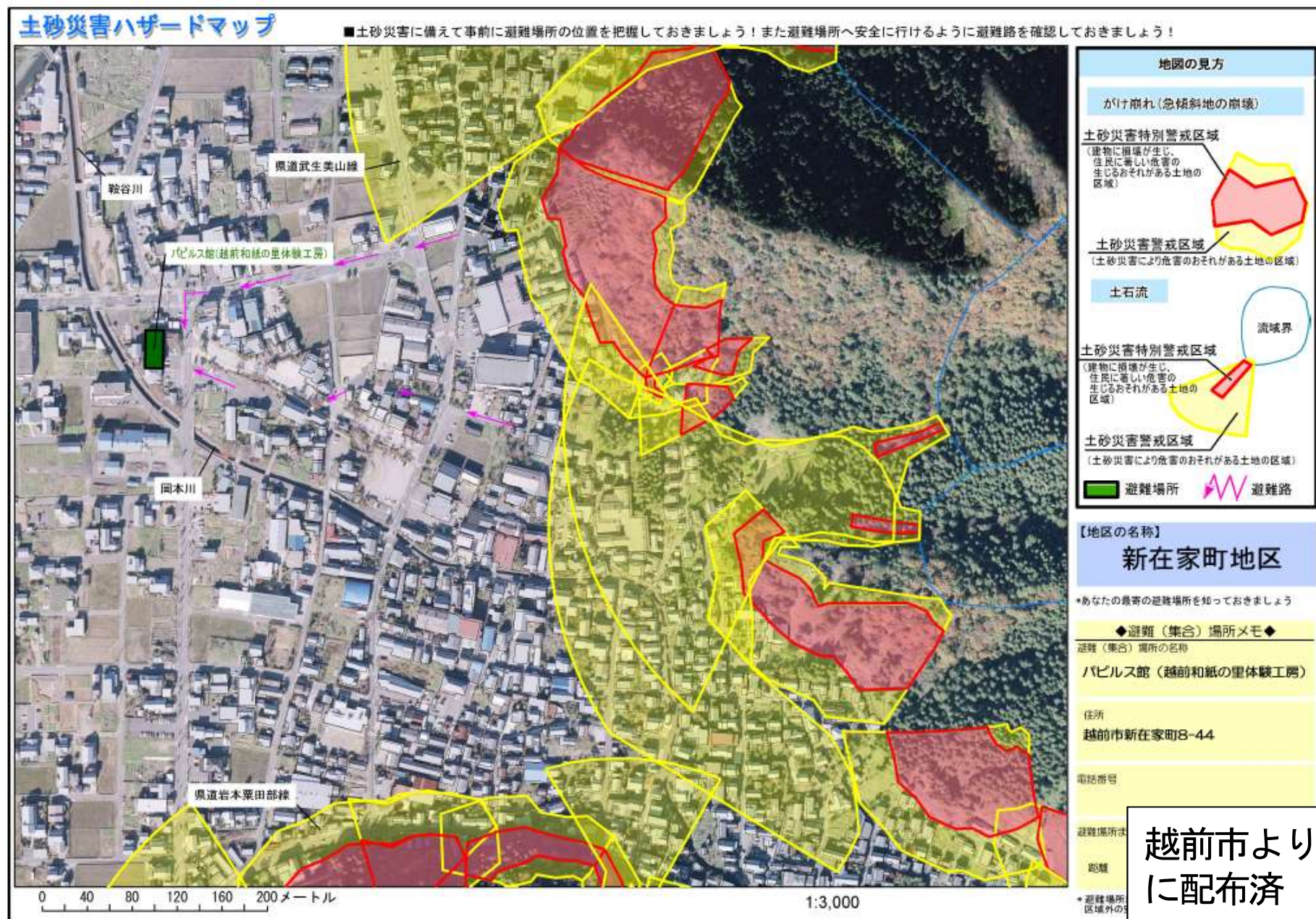
地図上で区域をクリックした後、左側に表示される「詳細を表示」をクリック。

詳細情報が表示されるので、一番下にあるPDFファイルをクリック

土砂災害の種類と土砂災害(特別)警戒区域の範囲を確認

土砂災害ハザードマップの確認

土砂災害ハザードマップ・・・土砂災害（特別）警戒区域、避難場所、避難経路等が記載されている



越前市より各施設
に配布済

土砂災害の前触れ

土石流



石が流れる音がしたり
火花が見えたりする



沢の水が濁り流木が混じる



山鳴りや地鳴りがしたり
異常なおいがする



雨は降り続けているのに
沢の水が減る

がけ崩れ



がけから急に水が湧き出る
水の量が急が増えたり濁る



がけに亀裂ができたり
がけが膨らむ



がけの上の木が揺れたり
地鳴りがする



がけから小石がパラパラ
落ちてくる

地すべり



湧水が増える



木が裂ける音や根が切れる音
山鳴りや地鳴りがする



池の水が濁ったり
急に増えたり減ったりする



地面にひび割れや
段差ができる

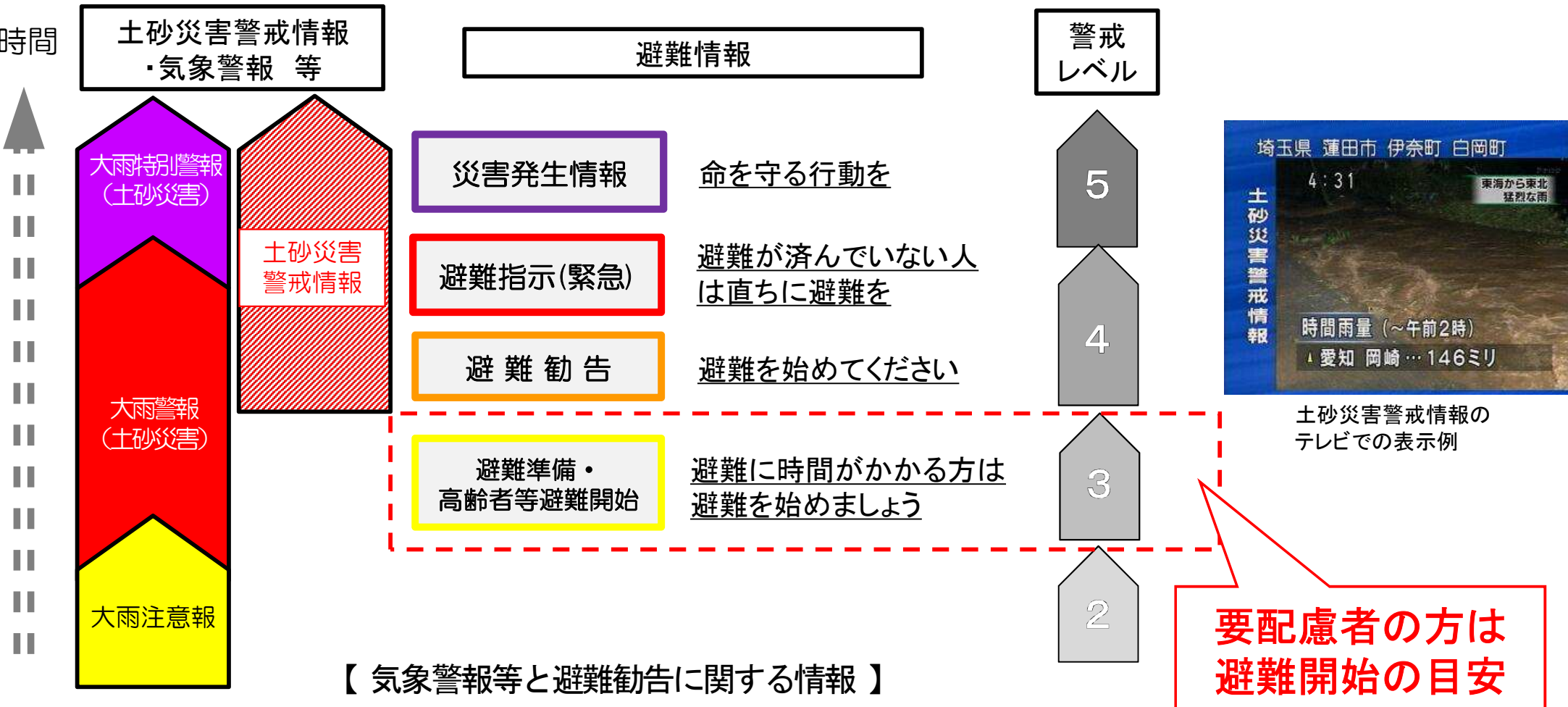
防災情報と避難のタイミング(土砂災害)

避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）

○高齢者の方や体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難開始。
越前市が今後の降雨予想等を考慮し発表。防災行政無線等のほか、施設へ個別連絡を行う。

土砂災害警戒情報

○大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、2時間先までの降雨を考慮し、土砂災害発生危険度がさらに高まったとき、県と気象台が合同で発表。避難勧告(警戒レベル4)の目安となる。



避難行動(安全確保行動)の考え方

- 避難は数分から数時間後に起こるかもしれない自然災害から命を守るための行動。
- 避難行動は「立ち退き避難(水平避難)」と「屋内安全確保(垂直避難、待避)」がある。
- あらかじめ、避難すべきエリア、避難行動をとるべきタイミング、とるべき避難行動を災害ごとに明確にしておくことが重要。

○指定避難所 (立ち退き避難)

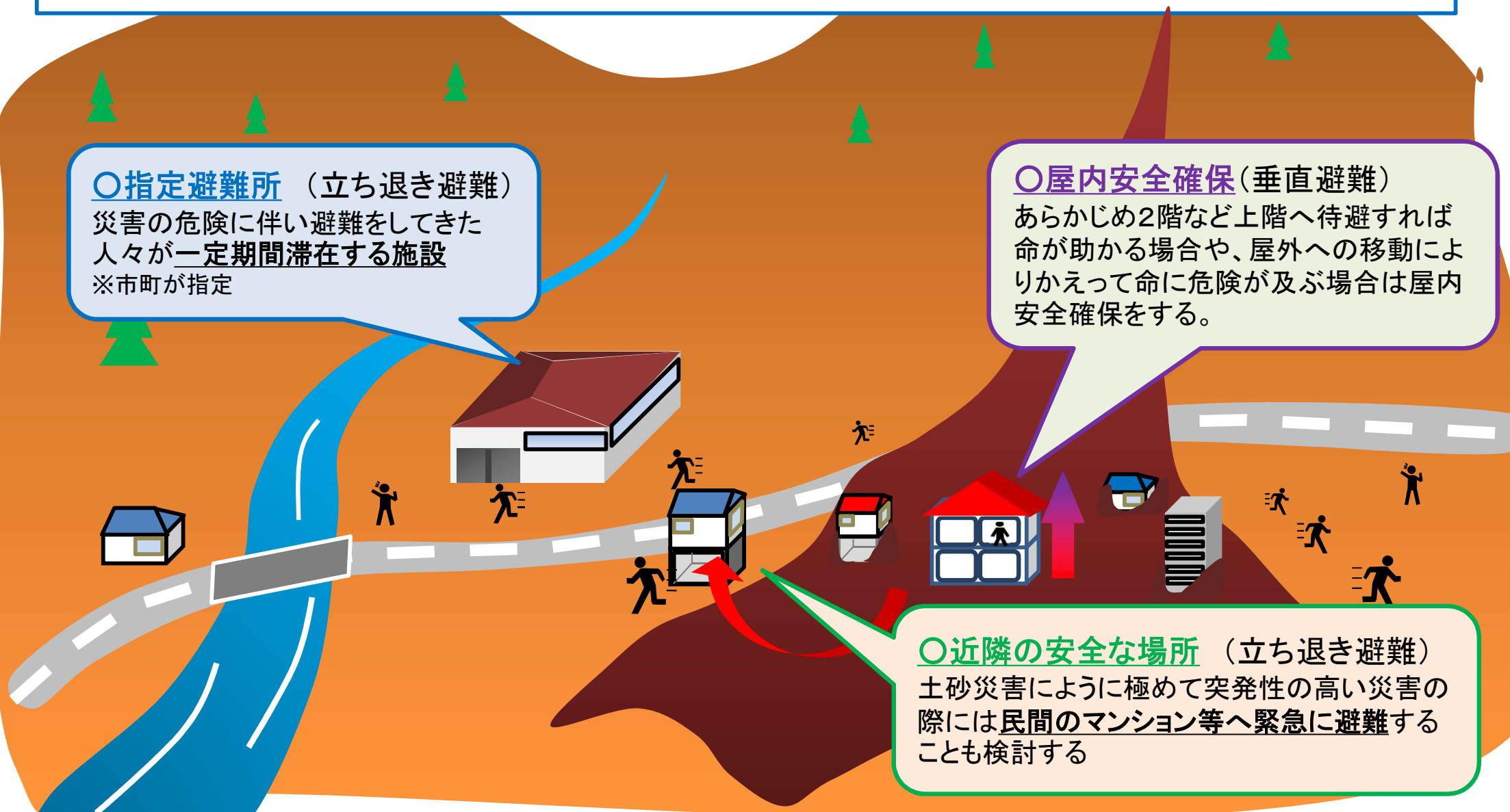
災害の危険に伴い避難をしてきた人々が一定期間滞在する施設
※市町が指定

○屋内安全確保(垂直避難)

あらかじめ2階など上階へ待避すれば命が助かる場合や、屋外への移動によりかえって命に危険が及ぶ場合は屋内安全確保をする。

○近隣の安全な場所 (立ち退き避難)

土砂災害のように極めて突発性の高い災害の際には民間のマンション等へ緊急に避難することも検討する

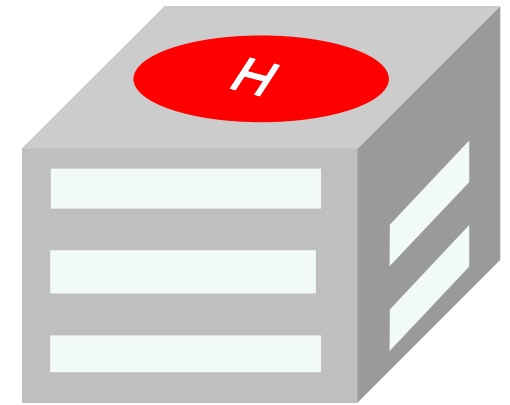


災害の切迫性に応じた避難

立退き避難を行う場合は、ここへの早めの避難を基本とする

○「指定避難所」(市町が指定)

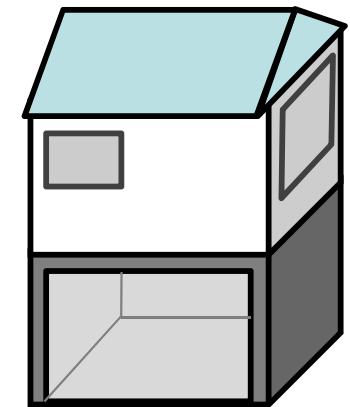
- ・災害の危険から命を守るために避難をする場所
- ・土砂災害、洪水等のハザード別に異なることに注意
- ・最寄りの避難所はハザードマップ等で確認
- ・避難ルートを事前に確認



大雨等により指定避難所までの移動ができない状況では…

○「近隣の安全な場所」

- ・避難所に限らず、「近隣の安全な建物」(民間施設も含む)に緊急的に待避することもあり得る
- ・そのため平時から適切な待避場所を確認しておくことが必要

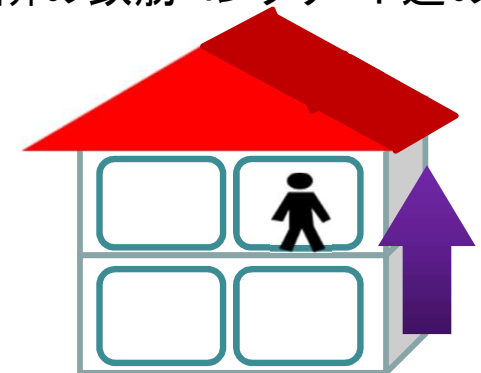


近隣の鉄筋コンクリート造の建物

外出すら危険な状況では…

○「屋内安全確保」

- ・建物内の土砂災害警戒区域から外れた場所に移動
- ・かつ上層階で山からできるだけ離れた場所に移動



避難訓練の実施と防災教育について

○ 避難確保計画の実行性を高めるため、年1回以上、避難訓練と防災教育を行ってください



避難訓練実施状況（医療施設）



避難訓練実施状況（幼稚園）



防災教育の実施



施設周辺の状況確認

避難確保計画のひな形と手引きについて

○福井県砂防防災課HP:

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabo/hinantebiki.html>

検索

福井県 避難確保計画



組織・部署から探す | サイトマップ | サイト内検索 検索したい単語を入力してください

暮らし・環境

医療・福祉

しごと・産業

観光・文化

教育・子育て

県政情報

▼ ガイドナビを開く

ホーム > 暮らし・環境 > 防災 > 災害に関する普及・啓発 > 土砂災害に関する「避難確保計画」作成について

いいね! 3

ツイートする

土砂災害に関する「避難確保計画」作成について

最終更新日 2018年3月16日 | ページID 014527

H29土砂災害防止法が改正されました

平成29年6月に土砂災害防止法が改正となり、土砂災害警戒区域等内に立地し、市町の地域防災計画に名称および所在地を定められた要配慮者利用施設（社会福祉施設、医療施設、学校）の所有者または管理者は、避難確保計画の作成および避難訓練の実施が義務付けとなりました。また、作成した避難確保計画は、市町長への報告が義務付けられます。ここでは、要配慮者利用施設の方が避難確保計画を作成する上で、必要となる情報等を提供しています。

「土砂災害に関する避難確保計画」の作成フロー

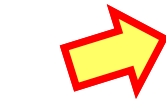
土砂災害に関する避難確保計画は、既存の計画を利用することが可能です。自分の施設が該当するところを選んでください。

- ・ 既存計画「土砂災害避難マニュアル」を作成している場合
- ・ 既存の防災計画等、独自でマニュアル等を作成している場合
- ・ 既存計画がない、または新しく計画を作りたい場合

- ➡ (1)へ
- ➡ (2)へ
- ➡ (3)へ



クリック



防災

- ▶ 災害に関する情報
- ▶ 雪に関する情報
- ▶ 国民保護
- ▶ 消防
- ▶ 災害に関する普及・各種防災計画
- ▶ 防災関係リンク

新着情報

(3) 新しく「避難確保計画」を作成される要配慮者利用施設の方

既存計画がない場合等、新しく計画を作成する場合は、県または国どちらの避難確保計画を利用して作成していただいても結構です。

(社会福祉施設、医療施設など)

福井県版 土砂災害に関する避難確保計画 (ひな形) (PDF形式 1139KB)

福井県版 土砂災害に関する避難確保計画 (ひな形) (Word形式 4207KB)

(学校)

福井県版 土砂災害に関する避難確保計画 (ひな形) (学校ver.) (PDF形式 761KB)

福井県版 土砂災害に関する避難確保計画 (ひな形) (学校ver.) (Word形式 5988KB)

福井県版 土砂災害に関する避難確保計画作成の手引き (PDF形式 4811KB)

ここからダウンロード